

学園だより

Vol.73

2004.2
Nara Women's
University



陽春の記念館(文学部 武藤康弘助教授)

シリーズ 情報と人間を考える 1

コミュニケーションとメタ言語否定

吉村あき子

現在・過去・未来をつなぐ 3

風をおくる

平井タカネ

トマトとあなたは同年齢で親戚?

江刺正吾

「要素還元論」を越えて「森の思想」へ

藤原 昇

寄稿 私のチャレンジ 6

伊佐佳奈子・山岡智子・池淵菜美

海外訪問記 9

ヨーロッパを魅了した東洋陶磁を訪ねて…… **武藤康弘**

ドイツ・ダルムシュタット工科大学滞在記…… **荒木正介**

ドイツ環境心理学会訪問記…… **安藤香織**

就職内定状況について 12

課外活動サークル紹介 15

学生生活案内 19

第45回佐保会奨学金授与式

「廣岡奨学金」について

日本育英会奨学金「在学届」の提出について

コミュニケーションと メタ言語否定

吉村 あき子

文学部 助教授
言語文化学科 言語情報学講座



AKIKO
YOSHIMURA

ことばの使用にはどのような認知的制約が働いているかを明らかにすることが広い意味での研究テーマである。現在は、メタ言語否定に関する認知語用論的研究を行っている。メタ言語否定といつのは、(一)・(三)に見られるように、真実条件の内容を否定するのではなく「先行発話の断定可能性」を否定する否定辞の用法とJohn Horn(一九八五)によって導入された(元々Ducrot)。

(一) I'm not his daughter - he is my father. (私が彼の娘なのではありません。彼が私の父親なのです。)

(二) The king of France isn't bald - there's no king of France. (フランス王は禿びはるまじい。フランスに王様は居ません。)

(三) I didn't manage to trap two mongeesees - I managed to trap two mongooses. (私が二匹のモンギーズを捕まえたのはありません。)



この現象は人が持つメタ表示能力の二の現れであると思なすことができる。

人は、多くの場合「ことば」を用いて「コミュニケーション(伝達行為)を行っている。ことばは、コミュニケーションにとって非常に重要な役割を果たしているが、実は必須のものではない。

例えば、次の状況を私たちが見ているとしよう。

(4) ある男Aが地面にあいた穴の中に、頭の方からゆくりりと入っていく。もう一方の男Bは、穴の外でAの足をしっかりと捕まえている。

この状況を見ている私たちの大部分はおそらく、ただ見ているだけではなく、「いったいこの二人は何をしているのだろう」とその行動の意図を考える。「その穴の中には、そのまま取り出す価値のあるものが入っていると、二人は思っているのだな」とか、「Aはそれを取り出そうかと思いついて、Bは、自分が手を離すとAは穴に落ちて怪我をしてしまうかと思いついて、Bは私たちに何かを伝達し

めようか。そして、(5) Aの足を捕まえているBが、私たちの方に視線を向け、顔をしかめて頭を激しく左右に振る。上記のようなBの行動を見たとき、おそらく私たちは、彼(B)は私たちに何かを伝達し

ようとしているのだと思い、それは「頼む、手を貸してくれ」のようなことだろうと推論する。このとき、この伝達行為はことばをまったく用いずに達成されている。この例が示していることは、少なくとも、ことばは「コミュニケーション」に必須のものではないといことである。

それでは、人の「コミュニケーション」を可能にしているもの、必須のものは何なの



だろうか。一般に人は、何かを理解したり考えたり、あるいは何かを伝達しようとするとき、その意味(概念)内容を心に表示していると考えられる(表示主義)。先の穴の例が示唆しているように、人は、他人の行動についてその意図は何だろうと

推論する。その心を読もうとするのである。そして、人は何らかの意図についてそれが誰のものであるのか判断することができる。人は、願望や信念・意図などの心的状態を表す(意味)表示を、自分以外の誰かのものであると判断する(帰属させる)。「メタ表示能力」を持っているのである。Sperber(一九九四)は、「コミュニケーションを可能にするのは、このような「人の心を読む能力」、つまりメタ表示能力であると主張する。正確に言うとは、他人の心を読むこと(推論すること)を可能にするのは、人がメタ表示能力を持っているからである。



先ほど、「コミュニケーションにおける推論の重要性を強調するため」(ことばがなくてもコミュニケーションが可能である)ことを述べたが、もちろん限界は明らかに存在し、身振りや表情だけで言いたいことを伝えようとすると大変な労力を要し、正確に伝わらないことが多い。ことばは

やはり伝達をうまく成功させるために重要なのであり、実際コミュニケーションの研究は、発話解釈を中心として成されるのが普通である。

メタ言語否定の話に戻ろう。(一)・(二)に示したようなメタ言語否定はメタ表示能力の二つの現れだと考えられる。メタ言語否定は、自分以外の誰か(何か)に帰属させた表示を否定の作用域に置く。メタ言語否定の否定対象は、含意や前提、形態発音、レジスターなどをはじめ、先行発話のあらゆる側面に及ぶと言われてきたが、様態の含意など対象にされないものもあるし、先行発話を特定できないものもある。Horn(一九八五)以降、この現象に関して多くの論者が発表されているが、まだ誰もその統一的分析に成功していない。メタ言語否定の研究に伴う困難さは、その否定対象の多様さに起因する。語の綴りといった極めて形式的なものから、前提や一般的会話の含意といった極めて概念的なものに至るまで、その対象は非常に多様である。そのため様々な現象の研究とそれを接する。

この現象は、上記の例からわかるように、「書き言葉」というよりは口常の「コミュニケーション」において典型的に生じるものである。従って、何らかの「コミュニケーション理論または語用理論が、当該現象を的確に捕らえられる可能性がある。その可能性を担い得ると思われる理論が現在どこにあると考えられる。

1976、Sperber and Wilson (一九八六、一九九五)によって提案された関連性理論である。この理論は、人が発話をどのように解釈するかを人が頭の中で行う外部刺激の認知処理の視点から説明する理論であり、発話処理の過程にこのレベル

〈論理形式(言語的解釈の出力)、表意(明示的に伝達される意味)、推意(非明示的に伝達される意味)〉を仮定している。Hornのいうメタ言語否定が自然類をなしているのであれば、その対象の統一的規定が可能ではずだという仮定に基づき、この枠組みを用いて、メタ言語否定の対象になるものの統一的規定を試みたが、一般的会話の含意が扱えない。

70(1)は Levinson(二〇〇〇)に代表される Neo-Grice 派語用理論で、これは発話の意味と話者の意味の間に copulative meaning を扱う中間レベルを仮定し、前提や慣習含意(一般的会話の含意などの他多くのものがこのレベルに位置すると主張するが、今度は逆に広すぎてメタ言語否定の対象を越えてしまう)。

これら現存の理論が正しいのであればメタ言語否定が自然類を成していないことを意味し、逆にメタ言語否定が自然類を成しているのであれば現存の理論を修正発展させる余地が生まれる。現在、他の現象との整合性にも配慮しながら考えられているところである。

風をおくる

平井 タカネ

文学部 教授
人間行動科学科 スポーツ科学講座TAKANE
HIRAI

先週、私達の講座では四回生と修士一
回生のお別れ会が行われた。その折に一人
の学生が述べてくれた言葉に心が動かさ
れた。彼女は奈良女子大学の思い出を、「先
生たちが送って下さる風を受けて、たん
ぽぽの種のような私たちは、綿毛を膨ら
ませながらそれぞれが目指す場所に向か
って飛んで行きます」と結んだ。

私は思わず奈良女子大学教官としての
二十八年間を反省させられた。長い年月
ともいえるが、あつと一瞬間に過ぎ去った
時間の中で、学生達にとって余りに弱々
しい風や冷たい風ばかりを送ってしまっ
たように思われたのだ。しかし、卒業生
たちがそれぞれの居場所を決めて充実し
た活動しているのを見ると、やはり一人
人が生来の能力を持つていること、自分
に合った風を受け止め、それに応えなが
ら生きていくことを確信している。

数日前に、最終講義をさせていただ
いたが、その教室の一番前の席に座って下さ
ったのは、本学の学生であったとき担任を
していただいた丹羽劭昭先生であった。
多くの恩師が他界された中で、担任であ
った恩師が元気なお姿で出席して下さる
幸せは格別である。学生の頃から先生方
が送り続けてくださった風が、ときに厳
しくあるいは優しく今も確かに感じられ
ることに感謝したいと思つた。

わたしの四月から大学は法人化され、

これまで以上に二層社会に開かれ、社会と
交流し、社会と育ち合う場であることが
要請されることになるだろう。そして、今
日の社会がその内部に抱え込んでいる多
くの課題や問題に正対できる専門性と教
養のある女性を育てることは、多くの大
学に与えられた重要な課題と思われる。

丹羽前学長のとき(平成十三年)に、お
茶大と共同で行われた卒業生対象の調査
では、「将来も女子大学維持」という希望
は、最近二十年間(一九八〇～二〇〇〇)の
卒業生が七十%以上で、それ以前の卒業
生よりも高かった。また、本学の大学院進
学理由の二位「男性に頼らない独立心を
養いやすい」と二位の「女性だけの方が
穏やかで落ち着ける」を合計すると七十
%近くにもなる。これらの結果を考えると、
女性と学問と自分に集中できる女性
環境が必要であるといえよう。奈良女子
大学に求められるのは伝統としての良き
「学風」を基礎として、真剣に学びたい女
性を育てる、時代に対応した女子大学と
して、新しい「学風」を創り出すことであ
ろう。

学生たちは芽吹きを内に秘め、
綿毛を輝かせて飛び風を求めて奈良女子
大学の門をくぐって来る。この学生達に、
新しい時代を背負う女性たちを育てると
いう教職員の高い意志と協力によって、
風を創り、送っていただきたい。

学生のみなさん、今あなたの綿毛はど
んな風を感じ、どんな風に伝えようとし
ているだろうか。甘い風、柔らかい風、そ
れとも冷たさや厳しさを含んだ風？ 奈
良女子大学で吹く風を一杯呼吸し、どん
な風を受け止め、どんな風に乘って自分
の花を咲かせるか。それを決めるのはあ
なた自身である。

トマトとあなたは 同年齢で親戚?!

江刺 正吾

文学部 教授
人間行動科学科 スポーツ科学講座



SYOGO
ESASHI

少女の頬のような赤色、可愛らしい形とやわらかい触感、あるいは「トマトのある家に胃病なし」といわれるほどの健康な食品として、現在、トマトは世界でもっとも愛されている野菜のひとつでしょう。トマトの原産地は、諸説があるようですが、中央アメリカのアステカ文明であるといわれています。この原産地から推測されるように、トマトは暑さに強く乾燥にも耐えます。

私も完熟したトマトが大好きで、春になると「桃太郎」といった品種の接木苗を十本ほど園芸店で買ってきては、四月下旬に植え付けます。この十年ぐらいい、赤玉ねぎと青紫蘇のなかまである「バジリ」も、猫のひたいほどの庭で育てています。これらを食材にして、バジリの緑、トマトの赤、赤玉ねぎの赤と白、そうイタリ国旗が示す三色の野菜サラダをつくり、トレンジングをかけて朝食にいただきます。このサラダは、我が家の盛夏に食する定番となっています。

このような趣味活動を通して、私は日本の四季の変化にいつぞう敏感になりましたが、とりわけ生物の不思議さに魅了されるようになりました。同じ袋に入っているバジリの種を同じ苗床に播いてもその成長はさまざまですし、前年と同じような植付けをした赤玉ねぎが良作とは限りません。

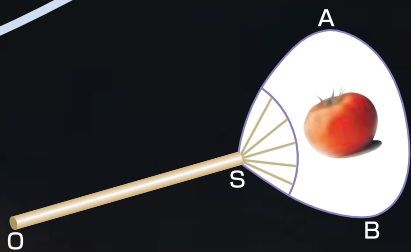
柳田充弘京都大学教授や中村桂子

J-T生命誌研究館館長などの生命現象に関する入門書を読みながら、私は、トマトも人間もはるか遠い遠い先祖を訪ねれば、その起源は同じ単細胞であったことを再認識しています。仮に生命が三十八億年前に誕生したとするならば、現存するすべての生物は、たとえばワカメも桜の木もマグロも犬も、ルーツはすべて同じですから、同じ三十八億歳になります。そして、同じ祖先から現在に至っているのですから、近親あるいは遠戚は別にして、すべての生物は相互に親戚関係にあるといえます。これをイメージするには、日本の団扇(うちわ)が最適です。すなわち、Oは地球上に生物が誕生した点、Sは空気中の組成が変化して、地上の生物が爆発的に増殖した点、そしてAとBを結ぶ曲線は二十世紀に生きているすべての生物を示しています。

このような想像力を働かすと、私は地球が心から愛しくなり、生物を含む自然環境を大切にしようという感情が、自然に湧いて来ます。ちよつと、親や友達を尊敬にするようにです。私たちが生きるためには、いつまでもなく、他者の命をいただくという食物連鎖が必要ですがこの場合でも、必要以上に命を奪わないことや、感謝の気持ちを忘れずに食事を摂ることにあります。

私たち日本人は、ほんの三十年ぐらいい前までは、食べることに汲々としていま

た。人類の全体をみわたせば、おそろしくその半数以上の人びとが、現在でも食べることに不自由しているような状態にあります。私たちが自戒すべきは、人類が地球を滅ぼすような「ガン細胞」に決して変異しない、ことではないでしょうか。



「要素還元論」を越えて 「森の思想」へ

藤原 昇

理学部 教授
情報科学科 自然情報学講座



NOBORU
FUJIWARA

自然は一見複雑に見えるがその基本は極めて単純である。そしてその基本は原子や素粒子などの物質要素に関する自然法則である。自然の法則を知りそれを以て、自然をより我々に役立つものに変えていく。これが私の二十代前後から四十代半ば頃までの考え方であった。十代の頃、アメリカの民主主義、合理主義そして経済力の偉大さに目を見張り、今迄の価値観、「古い言い伝え」や「俚諺」に反発もした。

要素とその相互作用が解れば全体が解る、との考えを「要素還元論」と言っ。この考えと同じ起源をもつ思想が「全体的ものごと」と「つ」から始まった」とする考えである。宇宙は「つ」のビッグバンから始まった、その昔、大陸も「つ」であった、人類はアフリカ大陸のある母体から始まった等々の考えである。この考えはものごとを単純に考える為の論法としては極めて有効で科学技術もこの論法により発展し、経済成長にも貢献した。しかしその結果として我々は大きな「負の遺産」を抱え込む事になった。産業廃棄物や放射能による地域的公害、オゾン層破壊などの地球全体の環境問題がそれである。

本当に「要素還元論」だけで「ものごと」の全てがわかるのだろうか？ 人体は多くの細胞から出来ているが、組織全体の「生」への矛盾が一定量を越せば死を迎え次の

世代と代わる。人間社会もその社会の矛盾がある量を越せば、その社会の崩壊が始まり新たな社会が創世される。組織というものはその中に生じる矛盾が一定の



閾値を越えると雪崩のように崩壊し新たな組織を誕生させる。「要素」のみに注目するのではなく、もう一度「全体」を見てみよう、生物や自然が地球全体とどう絡み合っているのか？ 五十代に入ってから衛星観測による自然変動の観測による「生物と自然との相互作用」の研究を始めた。

更にこの研究を進める中で、経済最優先の今の社会の原点がどこにあるのか考えるようになった。十八世紀末の産業革命、ずっと遡り「天地創造」に始まる「神は人間のために自然を作り宇宙をお造りになった」との思想へと行き着くのである。つまり人間は「自然」を意のままに変える権利を与えられているという思想へ辿り着く。しかし今、この考えは明らかに限界にきており、多くの人達が、この「自然との関わり方」に大きな矛盾を感じている。子供の頃、山川草木や生き物全てに魂が宿ると教えられ、自然の恵みに感謝する言わば「森の思想」の下で生活をしてきた。これからの社会は、自然とどのように共存していくのか、私達の生活様式を再考し、そのための科学技術を展開していかないといけないだろう。

最後に、次世代社会を創世して行く学生諸君へ、十九世紀始めのアメリカ「先住民」の「詩（ことば）」の一部を贈りたい。

「どうしたら空が／買えるというのだろう／そして大地を／風の匂いや／水の煌きを／……私が大地の一部であるように／あなたもまた／この大地の一部なのだ／大地にふりかかることは／全て私達にもふりかかることなのだ／私達が大切にしたいように／この大地を／大切にしてほしい／いつまでも」

挑戦するための逡巡

KANAKO ISA

伊佐佳奈子

大学院人間文化研究科
社会生活環境学専攻1回生

昨年、春、所属している専攻に聴覚に障害のある学生が入学することになった。専攻の掲示板には、「ボランティア募集」の告知が張り出され、主に手話ができる人と講義を筆記によつて実況中継する「ノートテイク」が求められた。手話ができるわけでもなく、「ボランティア」に参加したこともなかった。また、「ボランティア」に参加するほどの「心の広さ」も「強い信念」もない。それどころか、当初は、関心の薄さゆえに義務感さえ強いものではなかった。

ただ、初心者で人目を気にするがゆえに、この情報を知りながら何も関係しないでいるというところにきつと負い目を感じるに違いないと、自分の考えに日頃は持つことのない確信をもった。参加することによつて悩むこともあるだろうが、参加しないことの負い目に悩むよりはまだまだまじなように思われ、「ボランティア」という言葉に反発と引け目を覚えながら、人

には言えない後ろ向きな考えで登録した。ノートテイクでは、講義の内容だけではなく、学生の授業中での発言などもできるだけ書き取らねばならない。案の定、自分の不器用さに悩まされることになった。まず、文字を素早く書くということが難しい。加えて、担当がドイツ語の授業であったため、そもそわたしの聞き取りにも支障があった。そして、講義での「必要最小限の文脈」を取ることが難しい。一体、何が「必要最小限の文脈」なのか。大切であると思われることが抜けてしまい、それに比べれば書かなくていいと思われるようなことを書いてしまっているように思う。利用者からは、幾度となく、励まされた。

しかし、このように「必要最小限の文脈」でさえ十分に書き取ることができないのだが、個人的にそれでも一番悔しいのは、例えば、授業中にたまたま先生がおっしゃる冗談を省いてしまったり、書き取れたとしても周囲の笑いから反応に時差が出てしまつたというふうなことである。また、授業で音楽を聴いたときに、曲調の変化について、「転調した」ということしか書けなかったというふうなときもある。その場の臨場感のようなものを捉え損ねてしまつたことが、一番困痒かった。

こうして改めて書くこと、反省ばかりで「私のチャレンジ」として書けるようなことは、まだないように思う。ノートテイク

に参加したのも、人目を気にする自分を気にしたために、参加したのである。このような遠回りをして参加することに、本当に意味があるのだろうか。「参加した」から、参加する「もしくは」「ただ、参加

する」ことができたら、どんなにいいだろう。しかし、初心者わたしにとつて、悲しいことに、それにはまだ及ばない。だからといつこのままでよいとも思えない。新年度が始まるが、態度を決定する適当な考えが思い浮かばない。見切り発車するしかないのだろうか。ただ、続けて参加していれば、よりよい何かに気づくこともあるかもしれない。



Challenge

学生時代の宝物 ～挑戦のススメ～

山岡 智子
大学院人間文化研究科
物理学専攻 二回生

私が四回生の時、同じ研究室に所属した仲間は活発な事だけが取り柄の元気な者ばかりでした。東大名誉教授の小柴さんがノーベル物理学賞を受賞したと聞けば、受賞の根拠となった実験施設カミオカンデのある神岡宇宙素粒子研究施設に行き、スーパーカミオカンデのタンクの中に運良く入ってもらったり、誰かが海外旅行に行きたいと言い出せば、教授の紹介で韓国へ行くし、集中講義で京大の先生が来れば、料理を作って持て成す始末。どれも一歩間違えれば失礼極まりないギリギリの行動ばかり。でもそれらは掛け替えのない学生時代の思い出となりました。

特に私達に大きな衝撃を与えたのは韓国旅行でした。始めは旅行気分です浮かれていますでしたが、それは実に大事になってしまい、日韓の大学間学生交流会となってしまいました。韓国の学生は非常に積極的で、日本で活発な私達は世界に出ると小さな存在でした。広い世界へ目を向け、外国の文化に実際に触れ合う事は、日本にただでは絶対分らない事を教えてくれます。

私は後輩にもそんなすばらしい経験をしてもらいたいと思い、今年度も学生交流会を行う事を提案し、実現。物理教室で承認された大学の行事として行う事になったのです。今回は韓国の学生が日本

に来る事になりました。交流会の主旨は三、四回生ですが、私は経験者として取りまとめを引き受けました。私が司会を務めた学術発表会は日韓の学生が科学に関する話題を英語で発表するというもので、私が韓国へ行った時も行いました。今回改めて韓国の学生のレベルの高さを感じましたが、きつと参加した学部生はもつと驚いたと思います。そんな真面目なプラン



梨花女子大学との交流。研究交流会後の手作り夕食パーティー

だけではなく、観光で奈良公園、東大寺、大阪も案内しました。夕食は大学で手作りの鍋を振舞ったり、韓国の学生にも日

TOMOKO
YAMAOKA

本の文化を経験してもらいたい一心で学部生と協力して進めていきました。しかし最も文化の違いを感じられるのはホームステイです。私の家には一人が泊まりました。私が韓国へ行った時は寮に泊まったので気付きませんでした。布団、畳、風呂、トイレ、あらゆるものが少しずつ違う様でした。後から考えると、聞いておけばよかったとか、言っておけばよかったなんて思うこともあります。交流会の最後に韓国の学生とお別れをした時、双方の学生が涙を見せ、この交流会が充実したものであったと深く実感し、大成功を収めました。

そんな活発な私も四回生の時に結婚し、家庭に縛られる事も多くなりました。しかし上に書いた様な無茶な出来事も、結婚してからの出来事です。学部生の時も、そして院生生活になっても、夫婦でお互いを支え合って生きています。

人はそれぞれ、学生時代にしか出来ない事、学生でなくても出来る事、社会人しか出来ない事があります。学生時代にしか出来ない事に失敗を恐れずに挑戦してほしいと思います。ただ忘れてほしくないのは、その挑戦は自分一人の力だけではなく、きつと誰かに支えられているという事。私は先生方や友達、後輩、そして夫に感謝しています。

Challenge

「ケードロ・カルメラ・シャボン玉」

池淵 菜美

大学院人間文化研究科
人間環境学専攻(3) 3年生

NAMI
IKEBUCHI

こどもの頃どんな遊びをしたかは、年代によって違うはずですが、同じ遊びでも遊び方が変化していきたりします。しかし、つ言えると思うのは、外で体を使つての遊びは、昔の方が種類も多く、ある意味単純でも複雑で面白かつたんじゃないかという事です。私がこれを感じたのは、五十代のおじさん達と遊びについて話をしていた時でした。おじさん達からは、昔やつた遊びが出るわ出るわ二三分の一もネタのない私は本当に自信をなくす程でした。私がこどもだった頃よりもテレビゲームが遊びとして蔓延している現在、こども達は私達の世代よりも知っている遊びの種類が少ないはず。おじさん達ばかりが楽しい遊びの思い出でいっぱいなんてズルイ、と考えたのは私だけで、始まったきつかけはこんな事ではなかったかもしれないが、奈良町では年に一回、「わらべうたフェスタ」というイベントが開催されています。



計画していくうち、ただ単純に遊びただけなのに、それがなかなか難しいことが分かってきます。昔は道が遊び場だったはず、だから道でケードロをしようとしても、近頃は車や自転車を通るから危ない。それなら二口通行止めしてもらおうと警察にお願いに行ってもそんなに簡単にはできません。カルメラ焼を焼いて食べてみたいけれどもどんなに練習してもうまくぶくらまない…。そんな中、何よりうれしく楽しかったのは、見かねた近所の人が道具を作ってくれたり、口を出してくれたらという「人」との触れ合いです。多くの人の知恵や経験や力で作りに上げられたイベントは、当日ももちろんとても楽しいものでした。こどもの元気に対抗し体力を使い果たしてヘトヘトの私をそれでも笑顔にしてみよう、このこどもの力は侮れません。

私はこれまで、小学生が自分のまちを探索する大宇陀探検隊や奈良町探検隊、今回のわらべうたフェスタに関わってきて、「まち」と「こども」の関係について考え始めています。こどもはいろんな意味で多くの可能性を持ち、まちづくりの分野でも注目される存在です。まちの活気や



魅力を感じて集まってきた者の一人として、こどもたちとまちで大いに遊び、大いに学んでいくことで、奈良町は何を残し、伝えていくべきなのか感じていけるのではないかと思っています。そういう風に感じていこうとする姿勢を大切にしていきたいと思えます。

ヨーロッパを魅了した 東洋陶磁を訪ねて

武藤 康弘

文学部 助教授
国際社会文化学科 古代文化地誌学講座



YASUHIRO
MUTO

昨年九月のヨーロッパへの研修旅行は、その目的が「比較文明史」という教養科目の授業の準備のため、ヨーロッパ各地に残る日本の磁器を撮影するというユニークなものであった。研修というものは、基本的に旅費を自分でまかなうものである。このため、航空券は可能な限り安く、現地のホテルはトイレとシャワーは共同が原則という学生時代にもあまり経験したことがない過酷な旅になってしまった。しかし、このことは言っても現在はインターネットとEメールと便利なものがあり、部屋にいなから現地のホテルの部屋の写真や、周辺の地図、交通機関の路線図や時刻表まで手にいれることが可能である。けれども、ホームページ上からホテルの予約をしても、空き部屋がない時には返信のメールが来ないことがたびたびあり、結局夜中の3時にインターネットの検索で絞り込んだホテルに二軒軒電話をかけて部屋を押さえるはめになってしまった。ベルリンはホテルが数多くあるので問題は無いが、アムステルダムは宿泊事情が特に悪いので、必ず事前にホテルを予約していくことをお勧めする。

関空を出発し、アムステルダ



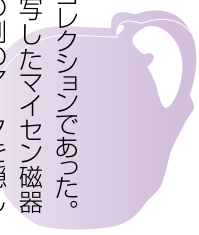
ドレスデン ホーフキルヒエ教会の結婚式

ムで乗り換えてベルリンへ行き、ベルリンからはさらに鉄道に乗って、やっとたどりついた町がドレスデンであった。もう少し足をのばすとチェコのプラハである。まさに、ヨーロッパのご真ん中である。長時間の移動と安宿、それに旧東側ではほとんど通じない英語、こんな苦労をした旅行であったが、ドレスデンのツヴィンガー宮殿の古伊万里や柿右衛門等の日本の磁器コレクションはすばらしく、丸2日間張り付いて撮影しても撮りきれない

ほどの量と質の一大コレクションであった。また、日本の磁器を写したマイセン磁器もすばらしく、お尻の剣のマークを隠してしまつと、どちらが本歌なのかわからなくなってしまうほどの出来栄であった。日本宮殿のホールを部屋毎にひとつの陶磁器様式で統一して陳列しようとした、ザクセンのアウグスト大王の東洋陶磁への強い思い入れには、ただただ脱帽するしかなかった。

ゲアテがエルベのフィレンツェと賛美した、ドレスデンも、アウグスト大王の時代から幾度のなく戦争の惨禍をくぐり抜けてきている。特に、第二次大戦末期のドレスデン爆撃では壊滅的な被害をこうむり、戦後長らく旧政権下で幾つかの主要な建造物は瓦礫の山のまま放置されてきた。

エルベ川に面したブルユールシュ・テラッセを散策していた時、にわかにはホーフキルヒエ教会の鐘が鳴り出した、結婚式が行われていたのである。大勢の人々に祝福される二人を見ながら、日本でいえば奈良や京都のような古都、ドレスデンがなぜ破壊されたのかを思い、現在の繁栄がいつまでも続くよう願ったのであった。東西ドイツの統合後、再建が開始され、世界最大のパズルといわれた聖母教会も、やっと天井のドームのところまで復原がこぎつけた。完成まであと二息である。



ドイツ・ダルムシュタット工科大学 滞在記

荒木 正介

理学部 教授
生物科学科 個体・集団生物学講座



MASASUKE
ARAKI

昨年八月四日から二ヶ月あまり、ドイツ学術交流協会(DAAD)の招聘により、ドイツ中南部に位置するダルムシュタット工科大学・生物学部、ポール・レイヤー教授と共同研究する機会を得た。同教授とは、過去何度も国際シンポジウム等で顔をあわせている。ともに神経系の発生・分化、とりわけ網膜神経細胞の分化と再生機構に興味をもつ研究者として、一緒に何か仕事を始めようと提案し、色々アイデアを出して検討した。現在彼は、神経再生について医療工学的アプローチを中心に研究を進めている。彼が開発した組織培養の新技术を、眼の発生と進化に関する私の興味へ応用するという、理想的な共同研究テーマをスタートさせた。

ダルムシュタットは、フランクフルトの南、電車なら十分ほどの、人口約三十万人の都市である。戦前はヘッセン州の州都であり、さらに第二次世界大戦まではヘッセン公領の城館がおかれていた、いわば城下町であった。現在、その大きな城館は大学の文系学部(芸術、社会系)の建物として使わ



セミナー終了後、地下のセルフバーにて

れている。歴史的に商工業が盛んであり、そのためか、町にも活気があり、市内のあちこちに旧領主の庭園や別荘などもあって、市民に親しく利用されている。ただ、ドイツの他の都市と同様、戦争末期に連合軍から激しい空爆を受け、市中心部はあらかた破壊されたらしい。戦後、近代的なビルが多数建設されたため、町を歩いていると、幾分ちぐはぐな印象を受けることもしばしばであった。

同大学は、学生総数一万五千人を超え、ドイツでは中程度であろうか。生物学部には三学科あり、毎年一八〇人ほどの新入生を迎えるが、四年間の課程を終えるのは六割程度、ディプロマ(学位)をとるためには、さらに課程終了後にいわば卒業研究を六〜七ヶ月やり、論文を提出しなければならぬ。ここまでやって大卒として一人前だそうで、結局入学者の四割ほどがめでたく学士となるそうだ。おまけに、ドイツでは一年の

徴兵期間があることや、授業料がタダなので学生ものんびりしており、六年、七年で学位取得はざらとのこと。このあたり、学部長でもあるレイヤー教授の悩みはとても深刻のようであった。経営・人事に責任をもつ州政府の大学担当部門からの厳しいコメントが来るそうだ。

滞在中に、オーストリアアルプスの谷間の小さな町Engelzellで博士課程の学生を対象に学部主催の夏の学校があり、私も講義を担当した。今年は、「分子進化」というテーマで、世界各国から二十名ほどの講師が招かれ、まる一週間、大学のゼミナーハウスで合宿。院生達も緊張した様子で自らの研究を発表し、教授連の鋭い質問を次々と浴びてしばしば立ち往生するところなど、なかなか厳しい。スケジュールはタイトでなく、納得いくまで議論が進む。夜は、地下のバーで、議論あり、ゲームあり、ダンスありと大いに盛り上がり(写真)、特に発表の終わった院生の夜明けまで続くパーティーぶりはなかなかすごかった。

この他、フランス、スペインを含め五研究室を訪問、三カ所でセミナーをして研究交流を深め、得難い時間を持てた。ところで肝心の研究成果であるが、まだいくらか予備的ながら、予想を超えた結果が出た。眼はなぜ眼なのか? 詰めの実験をやり、成果を早く発表しよう、と新年早々彼からメールで催促が届いた。

ドイツ環境心理学会 訪問記

安藤 香織

生活環境学部 講師
人間環境学科 生活文化学講座



KAORI
ANDO

2003年9月、私はオランダのアイントホーヘンで行われたドイツ環境心理学会に初めて参加した。そう、ドイツの学会であるはずなのだからなぜか開催地はオランダであった。もっともアイントホーヘンはドイツの国境近くの町で、ドイツ各地からの参加者も特に違和感を感じていないようだった。発言言語は英語であり、参加者はドイツに限らずスイス、オーストリア、オランダ、イギリスなどヨーロッパ中の各国から集まっていた。



アイントホーヘンの町並み

学会会場に入った私の目にまず止まったのは、階段で赤ちゃんをだっこしている女性研究者だった。話しかけてみると赤ちゃんは5ヶ月の女の子で、スイスから夜行列車で来たという。12時間もかかったと聞いて驚く。まだ母乳を飲んでいるので連れてきたらしい。それまで部屋で発表を聞いていたけど、赤ちゃんがぐずりだしたので廊下であやしに出たところだった。赤ちゃんが落ち着いてきたので、彼女と一緒に部屋に入った。中に入ると床に座って聞いている人が何人もいるのが驚きだったが、赤ちゃんが来てもだれも驚かず、ぐずり始めると周りの人があやしていた。

学会での託児について知り合いと議論したばかりだったので興味があって観察してしまっただけだが、日本ではたして赤ちゃんを連れて発表会場に入れるのだろうか。おそらく周りに気を使ってしまうてできないのではないだろうか。赤ちゃんと一緒にいても違和感なく自然に受け入れられている会場の雰囲気は私には新鮮だった。

おそらくこの学会は小規模なこともあって、インフォーマルな雰囲気での活発な発表、議論が行われていた。スーツを着ている人が少なく、シーズンで床に座って発表を聞くというスタイルがよく見られた。

今回のドイツ環境心理学会では、ヨーロッパの著名な環境社会心理学者の発表を間近に見ることができただけでなく、若手の研究者らと親しく話しをすることができたのが収穫だった。就職難のことなどヨーロッパの大学院生たちも日本の大学院生と似た悩みを持っていた。ただ違いは、ヨーロッパでは自分の国で就職がないときは外国での就職というオプションを考えられることである。そのようにして、研究環境の整った国に優秀な研究

者らが集まってくるのだろう。けれども一つの共通点としてヨーロッパでも日本と同じく心理学の研究者は女性が比較的多く、家族と離れて遠くで就職をするべきかという悩みを持っているようだった。学会の懇親会はアイントホーヘンの誇るサッカー・スタジアム・フリリップス・スタジアムで行われた。そして最後、今回の学会はドイツ・ポホムで開催されるという発表があった。ポホムは私の共同研究者らのいる大学である。次回も必ず参加することを約束して学会を後にした。



アイントホーヘン工科大学

就職内定状況

現4回生の就職内定率は73.3%(16.1.26現在)となっています。今年度の就職内定状況を前年度と比較すると文学部で上回る伸びとなっているものの、理学部・生活環境学部では若干減少した結果となっており、全体としてはほぼ同じ数値を確保しているものの、依然として厳しい就職状況が続いていることが伺えます。

内定先企業等の産業別の傾向については、情報処理産業をはじめ、卸・小売業、金融・証券、製造業(食品)の占める割合が高く昨年とほぼ同様の結果となっています。

以下は、学部・研究科別の産業別就職内定企業一覧です。

平成15年度(16年3月)卒業・修了者の就職先企業等一覧 「()内は、複数内定者の人数を示す。」16.1.26現在(学部)

産業別内訳	就職先企業等名称		
	文学部	理学部	生活環境学部
建設業			鹿島建設、トヨタホーム、ミサワホーム近畿、ミサワホーム東京
不動産業	ウィル不動産販売		ザイマックス、東建コーポレーション(2)、住友不動産シスコ、エム・シー・コーポレーション、フジハウジング
製造業 食品	福寿園、ヤタロー	日本食研、タマノイ酢、ニチレイ、マリンフード	デリカサイト、ピュア、ロック・フィールド、田中食品興業所、柿安本店、ドール
繊維工業 衣服・その他繊維	ミキハウス	カネボウ	岡本、エビス化成 ワコール、ミキハウス
化学工業	ノエビア、山之内製薬	東亜薬品工業、ヤンセンファーマー、シノテスト、万有製薬	日本ベーリンガーインゲルハイム(2)、花王、マンダム、ノエビア
金属製品		鉄工	トステム
非鉄金属		住友電気工業	
一般機械器具	ニューレジストン		リンナイ
電気機械器具		コーア	
輸送用機械器具	デンソー	日産自動車、スズキ	
精密機械器具	理研産業	キャノン、パナソニックMSE	理研産業、ケーエスエス、丸紅インフォテック
その他製造	きもと、京セラ	日立ハウステック、大阪印刷インキ製造、ダン科学	トーヨーキッチン&リビング、タカラスタンダード
卸売業・小売業	ヤマゼンクリエイト、イズミヤ、ローソン、ヨドバシカメラ、岡藤商事、ダイエー、ルイ・ヴィトン、ローソン、ブックオフコーポレーション	あわしま堂	パスポート、千趣会、三友、テス・エンジニアリング、大塚家具、はる、三越、阪急百貨店、飛騨産業、オージョイフル、ファーストリテイリング社、キャノン販売、ホンダネットナラ

産業別内訳	就職先企業等名称		
	文学部	理学部	生活環境学部
金融・証券	住友信託銀行、三菱信託銀行、鹿児島銀行、伊予銀行、きのくに信用金庫、泉州銀行、南都銀行、みずほ信託銀行	大福信用金庫	山陰合同銀行、京都中央信用金庫
保険	日本生命保険相互会社、共栄火災海上保険		三井住友海上火災保険、日本生命保険相互会社
運輸	日本トランスシティ		
通信	NTTドコモ関西	NTTコミュニケーションズ、NTTドコモ関西	NTT西日本
電気・ガス・熱・水道			
報道・出版	増進会出版社、宮崎日日新聞社、名古屋テレビ放送、のぞみ、アドバース		凸版印刷
情報処理産業	NTTデータ、ケーケーシー情報システム、ウッドランド、永和システムマネジメント、明生システムサービス、TIS	住商情報システム、日立情報システムズ、ソフトウェア興業、オービックシステムエンジニアリング、関西ソフトエンジニアリング、日立情報システムズ(2)、NTTデータ関西、NECシステムテクノロジー、富士通徳島エンジニアリング、医療システムズ、ジャステック、オービック(3)、日本システムディベロップメント(2)、富士通エフ・アイ・ビー、中央コンピューターシステム、システムリサーチ、東芝ITソリューション、UFJ情報システムズ、安川情報システム、日本総合研究所、TIS(4)	アクセス(2)、住生コンピューターサービス(3)、住商情報システム(2)、さくらKCS、日立システムアンドサービス、カコムス、MSKシステム開発
その他サービス	社会福祉法人奈良社会福祉院、大原学園、NOVA、京進、高見(2)、JA大分市、西鉄エージェンシー、エイチ・アイ・エス、松本引越センター、ロイヤルホテル、公文、UFJインターナショナルオペレーション、欧風料理ぶりほんぬ	ウェルウェイ、鈴木、ライフフーズ、富士ソフトABC、ジークス、STNet	ホロニック、レック、NOVA、ヤマシタコーポレーション、東京商工リサーチ、ヒューマングループ、ハートウェル、京都動物検査センター、特定医療法人愛仁会、食品分析センター、ローズコモディティ、メディック
官公庁等	大阪税関、大阪府警、岡山県庁、浜松市役所、奈良市役所、日本郵政公社、西条市役所、大洲市役所、埼玉県警		松山市役所、東京都庁、西尾市役所、徳島県警、忠岡町役場
教育機関	長野県立小学校、長崎県立中学校、愛媛県立高等学校(2)、大阪府立小学校(2)、西尾市保育園、奈良県立小学校、岡山県立小学校	大阪府立中学校、三重県立中学校、愛知県立中学校、大阪府立中学校、同志社女子中学校高等学校、鶯谷中学・高等学校	愛知県立中学校(2)、大阪府立中学校

産業別内訳	就職先企業等名称		
	国際社会文化学専攻 言語文化学専攻 人間行動科学専攻	生活環境学専攻 人間環境学専攻	数学専攻、物理科学専攻 化学専攻、生物科学専攻 情報科学専攻
建設業		富士ハウス	
不動産業		中京リファイン、大京管理	
製造業 食品		井村屋製菓、白鶴酒造、カネボウフーズ	
繊維工業			東洋紡績
衣服・その他繊維		ワールド	
化学工業		東レACS	プロテインウェーブ、呉羽化学工業、大鵬薬品、アベンティスファーマー、コニシ、ゲオール化学
非鉄金属			住友電気工業
電気機械器具			三菱電機、村田製作所、松下電器産業(2)、ダイキン工業、日本アイ・ピー・エム、日立製作所
輸送用機械器具			マツダ
精密機械器具			パナソニックMSE(2)
その他製造			バンダイ、任天堂、松下半導体エンジニアリング
報道・出版	ぎょうせい		
情報処理産業	オービス総研		日立ソフトエンジニアリング、JR西日本情報システム、アルファシステムズ
その他サービス	静鉄情報センター、マインドシェア北州、宝山寺事業団	ベルシステム24、岡田眼科、両備システムズ	日本医学臨床検査研究所、KRI
官公庁等	静岡県庁、名古屋市役所	東京都庁、滋賀県工業技術センター	
教育機関	九州国際大学付属高校、徳島県立高等学校、奈良県立高等学校、奈良県立中学校、奈良県立小学校(2)、姫路独協大学、愛知医科大学	ブール学院高校	埼玉県立高等学校、愛知県立中学校、静岡県立高等学校

体育系

■合気道部

①22人②原田奈緒③毎週火・木曜17:00～第二体育館、金曜18:00～鴻ノ池道場にて④月1,200円(offの月はなし)⑤合気道は、体一つで出来る武道です。しなやかな体の動きによる、美しく力強い身体表現の一つです。運動未経験者でも、全く問題ありません!興味があっても始められなかった武道を、貴女もやってみませんか!?

■アイススケート部

①3人②上野明日香③関西学生氷上選手権大会、奈良県民大会、日本学生氷上競技選手権大会、関西フリースケーティング大会、国公立フリースケーティング大会に向けて夏は陸トレと月2回のスケート教室、冬は大阪のほうのリンクで練習しています。④0円⑤人数が少ないですが、ジャンプにスピニングなど曲をかけて頑張っています。

■弓道部

①27人②椿本 彩③毎週火・木曜PM4:30～、土曜AM9:30～④毎月1,000円⑤講堂北側にある弓道場で活動しています。初心者、経験者、年齢問いません!弓道に少しでも興味のある方、私たちと一緒に楽しく弓を引いてみませんか?是非一度、弓道場まで足を運んでみて下さい。部員一同、心よりお待ちしております!

■剣道部

①13人②高堂 愛③月・土:第二体育館、木:第一体育館④月1,000円⑤私達剣道部は全日本大会出場を目標に、稽古に励んでいます。経験者もちろん、初心者も卒業までには二段をとれるまで上達できます。私達と充実した学生生活を剣道部で送りましょう!!

■硬式テニス部

①16人②吉尾麻里③火・水16:30～、土午前④入部金1,000円・部費1,000円⑤硬式テニス部には初心者から始めた人も多く経験者や熱心な先生方に囲まれてどんどん上達できます。もちろん経験者も相応の技術を磨けるはず!テニスをしたい人なら誰でも歓迎です!みんなでテニスを楽しみませんか。興味を持った方はぜひぜひテニスコートまでお越しください。

■水泳部

①8人②平田有佳③5～8月は水・日を除く週3日以上/9月～週2回④なし⑤水泳部は奈良教育大学内プールで練習しています。初心者も経験者も、自分に合ったメニューで楽しく泳げます。他大学との交流もあります。マネージャーも募集しています。水泳が好きな人、気軽に連絡下さい。

■スキー部「クリスチャニア」

①7人②内山奈々絵③OFFのとき月・金のトレーニング。シーズン中は、白馬やよませで合宿。あとは各自居候。④2回生から年1回1万円⑤初心者大歓迎!私たちと一緒にスキーを楽しみながら技術の向上を目指しましょう。

■ソフトテニス部

①3人②山口有理③月・木16:30～、土13:30～自主練、冬はOFF。学内テニスコート④500円/月⑤迷っている間にクラブサークルに入りそこねた方、中学・高校時代にソフトテニスをやっていた懐かしさを感じている方、ソフトテニスは初めてという方、など、いつでも部員大募集しています★これを読んで下さったあなたの入部を心よりお待ちしております!!

■卓球部

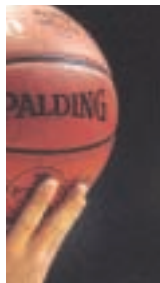
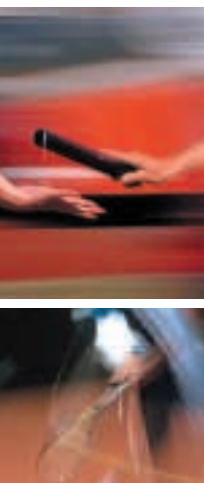
①13人②宮本早葵③毎週水・金PM4:30～④前後期各500円⑤現在経験者が少ないながらも、日々頑張っています。昨年は近国等で良い成績を残すことができました。今年はリーグにも出ます!また、うちの部は初心者も多く練習も各自に合わせた方法で行っていますので、経験者も初心者も興味のある方はぜひお越しください。

■なぎなた部

①5人②門林瑞恵③火・木16:30～、土9:30～④月500円⑤部員は少ないですが、みんなで仲良く活動しています。部員のほとんどが大学から始めた初心者ですが、卒業までに二段をとることを目標にがんばっています。袴をはいてのお稽古を通して有意義な大学生活を送ってみませんか?

■バスケットボール部

①15人②中田千穂③毎週月・木PM4時半～7時、土AM9時～12時④毎年5千円+登録料3千円⑤バスケ部は明るく楽しいバスケ好きの集まりです!バスケ好きな人、経験者はもちろん、初心者でも大歓迎!大学生活で何か物足りないと感じてる人、一緒にバスケしましょう!マネージャーも大歓迎!エンジョイバスケット!



文化系

■映画研究会

①6人②長谷川羽衣子③月刊紙『映画狂時代』の発行(毎月14日)、上映会(毎月第1・3水曜日、日)、映画製作、ミーティング(毎週木曜日)④なし。必要に応じて⑤映画部はとにかく映画が大好きな集団です。総合芸術なので、音楽好きの人も、本好きの人もファッションに興味のある人も大歓迎!

■演劇部

①19人②田中麻依③週2回④公演ごとに⑤役者志望、裏方志望問いません。まとめて大歓迎!もちろん初心者も大歓迎!!興味のある方は是非1度気軽にのぞきにきて下さいませ☆学館3Fの和室にて、水・金に活動しております。4月には入場無料で新歓公演を行います。どうぞ観にきて下さい!詳しくはチラシ、立て看板などで。

■華道部「花こみち」

①10人②瓜田直美③月3回月曜17:00~中集會室④前期700円、後期300円⑤初心者・経験者大歓迎。先生の親切な御指導の下、回生入部時期を問わず楽しめます。詳しいことは学館一階のホワイトボードに掲示しています。生け花に少しでも興味をもたれた方はいつでも見学にいましてください。

■競技かるた部

①7人②青戸恵③月・火・木16:30~④月250円⑤競技かるたとはお正月によく「新春かるた大会」とかニュースでやってるあの百人一首を使った競技です。部員のほとんどが大学から始めた人ばかりです。まったくの初心者でもぜんぜん大丈夫です。興味のある方も「競技かるた?なにそれ??」という方もぜひ一度見学にきてみてくださいませ!

■キリスト者学生会

①5人②植田淳子③毎週火曜日PM5:00~7:00サークルBOX2Fで共に聖書を学んでいます。④なし⑤キリスト教、聖書に興味のある方、クリスチャンの方、どなたでも気軽にのぞいてみて下さい。

■E.S.S.

①27人②西村真由美③全体活動は月・木(昼)、セクション活動は火・木(放課後)④入部費1,500円、前期3,500円、後期1,000円⑤ディスカッション、ディベート、ドラマ、スピーチの4セクションがあり、楽しく活動しています。英語力が身につく上、他大学との交流が多いので友達の輪が広がります。

■モダンダンス部

①12人②坂本瑛子③毎週月・金PM4:30~④月千円(ジャズのレッスン費)⑤私達モダンダンス部は、創作ダンス、バーレッスン等の基礎練習、プロダンサーによるジャズ・ヒップホップレッスンなどを行っています。発表は年2回の他大学合同公演会と夏の大会、そして毎年好例の学祭にて行います。初心者経験者大歓迎!姿勢の良い美しい体もゲット。一緒に舞台上に立ちませんか?月・金は第二体育館へ!

■陸上部

①12人②宮田知佳③月・水・金④なし⑤経験者も初心者もそれぞれ自分のペースで楽しんで走っています。試合やマラソンなどにも挑戦していきます。走るのが好きな仲間が集まっているので、走り続けたい人も走り始めたい人も、ぜひ一度練習に参加してみてください。一緒に奈良を走りましょう!

■ラクロス部

①25人②小林加織③火・木16:30~、土9:00~④1,000円/月⑤大学のスポーツといえば、やっぱりラクロス!!ラクロス部はユニークでいつも楽しくワイワイ練習してマス。関西エリアの大学との交流もさかんで大学外そして男女問わず友人たくさんできます!!新しいことやってみたい、走りたい、友達欲しい、やっぱりスポーツと思ってる人!!ぜひ一度グラウンドへ~!!

■バドミントン部

①10人②杉本優利子③月・水・土④月800円⑤現在、部員規模はそれ程大きくありませんが、それぞれの人が自分なりの目標を持ってバドミントンというスポーツに関わっています。バドミントンは奥の深いスポーツでなかなか難しく、また面白いです。一度はまるごとことんはまります。よろしければ一度練習を見に来て下さい。

■バレーボール部

①12人②池田有佳③火・金・土第一体育館にて④千円⑤「楽しくバレーをする」をモットーに春と秋に開催されるリーグ戦に向けて、日々練習に励んでいます。初心者ももちろん大歓迎!マネも大募集!私達と一緒にバレーボールを楽しみましょう!一度気軽に練習を見に来てくださいね!

■ハンドボール部

①13人②辻本円香③毎週水・金第一体育館PM4:30~④毎月500円⑤運動部ですが、みんなで楽しく活動しています。部員の大半は初心者!大学で新しいスポーツに挑戦してみたい方、ぜひ気軽に見学しに来て下さい!!部員みんなで大歓迎いたします。

■舞踊部

①13人②津田久美子③毎週月・木曜日PM4時30分から学館2F大集会室④前後期各1,800円⑤バレエを基礎にさまざまなジャンルの踊りにチャレンジしています。部員の半数は初心者なので、未経験者も大丈夫!学祭での公演は、部員全員で力を合わせて発表しています。舞台演出や音響や衣裳のスタッフさんも大歓迎!Shall we dance?



■漫画研究会

①27人②山下真佑美③部誌発行、学祭時に「COMIC☆PARTY」開催④入会金1,000円、前後期各1,000円⑤毎週火・金曜日学館2階で活動中。楽しく談笑するもイラストを描くも部員の自由です。漫画やアニメ、ゲームが好きなら、部誌に漫画を描きたい方、好きなジャンルについて語りあいたい方は是非一度いらして下さい。

■わかたけ会

①12人②大江美季③週2回ミーティング(昼休み)、月1回ブレイルーム(日曜日)④なし⑤月1回京都府八幡市に住む軽度の障害を持つ子どもたちと遊んでいます。子どもたちと共に心から楽しめるプレイを企画しています。子ども好きの方大歓迎!!一度遊びに来て下さい。

■社会科学研究会(華の会)

①10人②岩崎麻友③週2回の例会、フィールドワーク、合宿、学園祭での展示・講演会など④月200円⑤世界の諸問題を探る一難民、貧困、飢餓、紛争なぜ起きるのか一をテーマに中東・アジアを中心にして研究しています。国際問題ならどこにこい!ここに来て自分の世界観を広げてみませんか?みなさん気軽に立ち寄って興味のあることなんでも話しに来てくださいね!



■天文学

①20人②瓜田直美③毎週月曜日昼休みのミーティング、合宿、関西学生星のネットワーク主催の行事への参加、学内での観望会④月150円⑤ほとんどの人が天文に関して素人ですが、みんな仲良く楽しく活動しています。色々な天文台で合宿をしたり、天体写真を撮ることもできます。少しでも興味のある方は一度覗いてみて下さい。

■点訳部

①6名②石川千里③週1のミーティング④なし⑤活動は主に依頼された本の点訳です。好きな時間にできるので、他のサークルとのかけもちも楽々OK!夏休みは富士山付近で合宿をします。点字を打ってみたい方、少しでも興味をもたれた方は、是非のぞいてみてください。

■美術部

①11名②前田記子③ミーティング④前後期各1,000円⑤週1回、昼休みのミーティング以外は個人での製作活動が中心です。10月にある「ならまち合同大学祭」で作品を展示すると、恋都祭で写真部さんとギャラリーカフェを開いて展示と喫茶をするのが主なイベントです。皆で美術展に行くこともあります。絵を見たり描いたりするのが好きな人が、気楽に集まっています。

■文芸部

①30人ほど②東和田恵理子③月1回年8回の部誌発行④なし⑤詩や文章を作り出すのに興味のある方、それらで自己表現をしたい方、文芸部に入ってみませんか?時間的な拘束が少ないので、兼部やバイトもOKです。学館のサークル掲示板前に部誌を置いています。ご自由にお取り下さい。

■古美術研究会

①7人②佐藤有美③例会、月1回遠足、関西学生古美術連盟主催行事への参加(寺社の春秋特別拝観のお手伝い・連盟合宿・散策)④なし⑤奈良という地域性を生かしお寺や神社を巡る活動をしています。奈良の大学なので「いつでも行ける」と思って結局4年間どこにもいかなかったという学生さんは多いようです。古美研に入って一緒に奈良を満喫しましょう。

■茶道部

①45人②加藤南③火曜日にミーティング、木曜にお稽古、10月に秋茶会④月謝2,500円⑤毎週学内の佐保会館で3人の先生方に教えて頂いています。ほとんどの部員が大学から始めているので、初心者でも心配いりません。学内だけではなく他大学のお茶会にも出席できます。また、昨年は正倉院展でお茶をふるまいました。お茶に興味のある方は是非茶道部へ!

■写真部

①14人②森島あゆみ③月曜日にミーティング、アマの写真家による写真教室、近辺へ撮影会(月1回程度)④前後期各1,000円⑤自由にラフに活動しています。学祭での展示が主です。写真に興味がある人、始めてみたい人、是非のぞいてみて下さい。経験は問いません。

■書道部

①18人②赤澤祐梨③毎週月曜日学館3階和室にて④前後期各6,000円程度⑤主に春と学祭での書展、学書展への出品を行い、その他拓本とり、文部省認定の書写検定も行っています。毎回先生が来て下さり、丁寧な指導が受けられます。経験を問わず大歓迎ですので、気軽にあそびに来て下さい。



■ジャズ研究会

①26人②山田いづみ③週1回のミーティング、年3回のライブ(H15年度)④入会費1,000円、前後期各2,000円⑤ジャズをまったく知らない人どころか、音楽未経験者も大歓迎!とても仲良く、アットホームな部です。みんなでもっともっとこの部を盛り上げ、ジャズを楽しみましょう。

■箏曲部「飛鳥会」

①21人②臼井規恵③ミニコンサート(春)定期演奏会(秋)④1ヶ月750円⑤古都奈良でお琴を弾いてみませんか?2回生からは三弦(三味線)も習えます。初伝・中伝・奥伝とお免状も頂けます。5月8日(土)講堂でミニコンサートを開きますので是非いらして下さい。お待ちしております。

■能楽部「観世会」

①7人②藤田佳美③週2回火・木曜④2,000円⑤舞と謡を中心に能に親しむことを目標にしています。プロの能楽師の先生にご指導頂き、毎年一回能などを出す自演会を開いております。希望者は笛などのお囃子も習えます。部員は皆初心者から始めた人ばかりです。気軽に見学に来て下さい。

■Piano-forte

①16人②當麻英梨子③月曜放課後ミーティング④前後期各3,000円⑤音楽棟に通いつめて冷暖房の効いた部屋でとことんピアノの練習に励むのもよし、コンバや他大学との交流をたのしむのもよし、兼部もOK。とにかく自由気ままなサークルです。どんどん音楽棟に遊びに来てね!ホームページもあるので検索してみてください。

■ギター部

①5人②山地広美③週一回④なし⑤ギター部は自分の好きな曲を楽しく弾くクラブです。今まで一度もギターを弾いたことがない人でも大丈夫。現在の部員も大学に入ってからギターを始めた人ばかりです。ギターは部屋にあるので買う必要もありません。興味のある方は、ぜひ一度部屋に遊びに来て下さい。

■ギター・マンドリンクラブ

①37人②田儀あゆみ③月・水・金PM4:30~7:00④毎月1,000円⑤6月の関西学生マンドリン連盟合同演奏会、11月の定期演奏会に向けて練習しています。他大学との交流もあります。その他にもたくさんイベントもあり、楽しく活動しています。初心者の方大歓迎です。興味のある方は是非気軽に来てみて下さい。

■軽音楽部

①22人②上野千明③新歓ライブ、定期演奏会、学祭ライブ、クリスマスコンサートなど④毎月1,000円⑤練習は各バンド自由です。ほとんどの部員が初心者からのスタートなので気軽に一度ライブを見に来て下さい。みんな仲良しで楽しいですよ!自分の好きな音楽と一緒に楽しみましょう!

■《KOTANI》コンピューターMIDI

①12人②三浦麻衣③金曜昼休み音楽教育情報学前田研究室にて④500円⑤DTMについての知識及び技術の向上、定期的な作品発表会を活動内容としている。また、インターネットを使った学外・国際間の交流を視野に入れている。

■教育問題研究会

①10人②高野瞳③週2回の例会、長期休暇中の合宿、月1回の機関紙発行など④月500円⑤「ゆとり教育」と過熱する受験競争・「心のノート」・教育基本法・教科書問題など、様々な問題をとりあげています。少人数で仲良くやっている学術系サークルです。大学の授業の枠にとらわれない楽しい研究を一緒にやりませんか!

■恋都祭実行委員会

①20人②松井理恵③火、金昼休みミーティング④なし⑤委員会とは名ばかりで、1サークルとして活動しております☆ただただ学祭を盛り上げたい一心で時に熱く、時に楽しく和気藹々な集団です☆大学でいろんなことを吸収したいあなた、気のおけない本当の友達を見つけたいあなた、恋都祭実行委員会で、間違いない☆

音楽系

■音楽部

①21人②亀島 彩③月・水・金の5:30~7:30④1,500円⑤音楽部は、みんなで仲良く楽しく歌っている女声コーラス部です。アットホームさには自信があります!昨年は関西合唱コンクールで金賞を頂き、練習の成果も見せています。他大学との合同コンサートや毎年12月に開かれる定期演奏会など、様々な活動に積極的です。

■管弦楽団

①40人②西澤朋子③スプリングコンサート、定期演奏会、依頼演奏、合宿など④月額2,000円⑤初心者、経験者を問わず大歓迎です!大学からなにか始めたい方、ぜひオケ部へ!プロの指導も受けられるので、めきめき上達しますよ!詳しくは、下記のホームページまで。
HPURL <http://www.geocities.co.jp/Hollywood/8002/>

第45回佐保会奨学金授与式

去る12月3日(水)に第45回佐保会奨学金授与式が本学人間文化研究科会議室で行われ、文学部4回生加藤桂子さん他12名に賞状並びに奨学金が授与されました。

佐保会奨学金は、本学卒業生を組織された社団法人佐保会が、昭和34年に母校の創立50周年記

念事業の一環として募金した基金により設けられました。また、平成6年には溝上泰子殿(昭和2年奈良女子高等師範学校家事科卒業)のご遺志により、東南アジア留学生を対象とした区分も設けられ、学業・人物ともに優れた本学学生に対して授与されるものです。



■今回授与された12名

文学部	国際社会文化学科	4回生	加藤 桂子
人間文化研究科 博士前期課程	言語文化専攻	2回生	廣島 志帆子
人間文化研究科 博士前期課程	人間行動科学専攻	1回生	和田 悦子
理学部	数学科	4回生	池田 みゆき
理学部	化学科	3回生	竹村 幸恵
人間文化研究科 博士前期課程	物理科学専攻	1回生	藤田 真由子
生活環境学部	生活環境学科	4回生	佐藤 瑠美
人間文化研究科 博士前期課程	人間環境学専攻	2回生	関川 華
人間文化研究科 博士前期課程	人間環境学専攻	1回生	長坂 弘美
人間文化研究科 博士後期課程	比較文化学専攻	3回生	源 真帆
人間文化研究科 博士後期課程	複合領域科学専攻	3回生	PHAN DUE THANH
人間文化研究科 博士後期課程	人間環境学専攻	2回生	吉本 光佐

「廣岡奨学金」について

廣岡奨学金は、本学卒業生 故廣岡タマエ殿(徳島県出身、昭和4年奈良女子高等師範学校理科卒業)のご遺志による寄附金を基金とし、本学の学部学生で学業・人物ともに優秀であり、経済的理由により著しく修学が困難な者に奨学金を給付し、将来有望な人材を

育成することを目的として設けられたもので、現在5名の学生がこの奨学金を受給しています。

この奨学金の募集は、2回生以上の学部学生を対象に毎年4月に行われます。詳しくは4月初旬に掲示によりお知らせします。

日本育英会奨学金「在学届」の提出について

在学中は奨学金の返還が猶予されます。
「在学届」を5月14日(金)までに厚生課へ

高等学校または大学(大学院を含む)在学中に日本育英会奨学金の貸与を受けていた者で平成16年度に本学の学部・大学院に新規入学した学生、または、本学で同奨学金の貸与を受け、貸与期間が終了したものの休学・留年のため卒業が延びた学生については、在学中は奨学金の返還が猶予されます。

該当者で、返還の猶予を希望する場合は、「在学届」(「返還のてびき」の巻末に綴じ込まれているもの)に必要事項を記入し、5月14日(金)までに厚生課奨学金担当へ提出してください。なお、別途に各自で証明を受けたり、在学証明書を請求する必要はありません。

学生相談室について

●学生相談室は、あなたのマインドスペースです

学業や進路の不安、日常生活でこまったこと、対人関係など、さまざまな心配ごとについて一緒に考えましょう。

話を聞いてもらうだけでも、落ち着くこともあります。

相談室は、あなたの話にじっくり耳を傾けます。そのことで解決の糸口が見つかるかもしれません。

内容に応じて適切な人や機関を紹介することもできます。

●開室日及び開室時間

月曜日～金曜日 午前10時～午後5時

夏期休業中は月曜と木曜のみ開室

8月第3週と第4週、12月29日～1月3日、入学試験日(前期・後期)は閉室します。

上記以外で閉室する場合は、構内掲示板や相談室前にその旨を掲示することによりお知らせします。

■学生相談室の場所は学生会館3階です。

TEL.0742-20-3925 Eメール soudan@cc.nara-wu.ac.jp

●担当スタッフ

■相談受付

金文子(月曜日・水曜日・金曜日)

岩井涼子(火曜日・木曜日)

■カウンセラー

皆藤靖子(臨床心理士)

竹村百代(臨床心理士)

■相談員

小川伸彦(教員)

和田恵次(教員)前期

高橋 智(教員)後期

米田守宏(教員)

相談の秘密は厳守します



奈良女子大学
7630-8506 奈良市北魚屋西町
TEL0742-20-3235

発行日:2004年2月20日
発行:学園だより編集委員会
印刷所:共同精版印刷株式会社